「JST さくらサイエンスプランで、バングラデシュの大学院生が来訪」

10/6~12 の1週間,2019 年度「日本・アジア青少年サイエンス交流授業(さくらサイエンスプラン,実施主担当者:鈴木教授)」でバングラデシュ・ノアカリ科学技術大学の大学院生・大学生・研究員・教員あわせて11名が物質環境化学コースに来訪し、複数の研究室などで研修を受けました。訪問側代表のBahadur教授はかつて鈴木教授の下で博士号を取得した旧知の仲。コース内にいるバングラデシュからの留学生がサポートにつき、日本人学生・教員との交流を深めました。成田に向かう直前のFarewell Party は、台風19号の直撃のさなか。しかし、台風の影響を受けることなく、全員が無事帰国されました。

(参加者の感想抜粋) "One thing that I must share is the behavior, simplicity and hospitality of the professors and students of Utsunomiya University was very nice. I have become more interested about advanced material science technology after attending Sakura Science Exchange Program. I highly want to do my PhD in Japan".

第1日目 附属図書館陽東分館にて



2 日目 粉体・界面工学研究室におけるマイクロ波装置の説明



3 日目 界面化学研究室における Langmuir-Blodgett 膜調製装置の説明



4 日目 水処理化学研究室における磁化活性汚泥の調製



5 日目 株式会社 JSP の見学(展示室の前で)



6日目 招へい者による報告・発表



インド料理での送別会の様子

